



- 温熱レポート -

もっと、ずっといい日

月刊「もっと、ずっといい日」
発行 / 2018.08.20
株式会社MOZU
東京都新宿区西新宿3-17-7
Tel / 03-6276-1262
企画・編集 / スタッフHMNS
無断禁転載・非売品(会員誌)

創刊に寄せて「ご挨拶」



株式会社MOZU
ひしだしんじ
代表取締役 菱田進治

株式会社MOZUのコミュニケーションンペーパー『もっと、ずっといい日』の創刊にあたり一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

当社が、炭素繊維を使用した産業用の遠赤外線面状放射体の製造・販売及び輸出入を業として創業したのは2006年です。

その後、遠赤外線面状放射体床暖房『遠赤王』の販売を機に、装いを新たに現在の会社を設立したのが2014年です。

以来、4年近くが経ちました。この間、太陽光発電システム及びその設備の製造・販売、遠赤王健康シリーズ製品として『日だまり』『遠赤暖ベルト』『ニューロ・アイウォーマー』『ひなた羽織』『温泉ひざ掛けD

X』『メデイカルマット』を、そして昨年は待望の医療機関向けの『遠赤外線温熱治療ドームレンボー』が管理医療機器として行政認可を受け販売させていただきました。これは、ご案内のとおりです。

代理店の皆様方の力強いご支援ご協力を持ちまして、製品は堅調に普及していることを、まずはこの紙上を借りましてご報告させていただくと共に、厚く御礼を申し上げます。

ご承知のとおり当社の流通は代理店制度を起用し、皆様方から普及のご協力をいただいております。

代理店様の業態業種はさまざまなこと、有難いことに当該製品は発売以来、実に多方面の分野で広くご愛用いただいております。

特に遠赤王健康シリーズに閉じましては、高齢化社会や健康不安時代を背景に、これら製品を必要とする市場が多様で大きいことをあらためて実感しております。

現時点では、当社の営業人員に限りがあるなどの営業上の体制や代理店様が全国に点在している関係もあり、製品情報をはじめ業務事項の伝達等は個別対応させていただくことが多いのが現状です。

『もっと、ずっといい日』は、そうした点を補い製品や業務に関する情報を皆様方と等しく共有し合うという意味において、あるいは消費者とのコミュニケーションをはかる上でも有効な媒体ツールになるのではないかと考え発刊を企画したものです。

小紙が、当社と皆様方との絆を一層高め、強固な信頼関係を構築していくための架け橋となるよう努力をして参る所存です。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【お見舞い】
この度の西日本を中心とした豪雨、また梅雨前線に伴う大雨の影響により、被災された皆様ならびにご家族の皆様へ、心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

株式会社MOZU
モズエンタープライズ株式会社 社員一同

誰でもわかる 薬機法入門講座①

知らないでは済まされない関連法規 ～法令順守精神で正しい普及を～

私たちは国が定めた法律に従い社会の一員として市民生活を営んでいます。その法律の内容が自分にとって「好む、好まない」とは関係なく、また法律を「知っている、知らなかった」にも関係なく社会生活は法律に従って運営されています。法律に反すれば、その内容に応じて社会的制裁(罰則)を受けることとなります。仮に悪意がなく、むしろ良いことだと思って行っ「善

意の行為」と思えることでも、それが法律に反することであれば、やはり法に照らして罰せられます。私たちの日常生活の行為、特に商行為はすべからず法律という物差によってその是非は律されています。

例えば、遠赤王の健康シリーズ製品は、健康に関わる製品ですので、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律」(「医薬品医療法」機器)通

称「薬機法」。法改正前は「薬事法」と関係してきますし、医療機関向けの『遠赤外線温熱治療ドームレンボー』は、管理医療機器として行政認可を受けているので「医師法」とも関係してきます。また太陽光発電システムや光健康床暖房などは、訪問販売営業が伴うことから「特定商取引法」と関係してきます。

(続く)

「おばあちゃんの原宿」から健康を発信し続け、すっかり定着した商店街の名物店「ひだまりや」

ひかり温熱療法サロン『ひだまりや』は、通称「おばあちゃんの原宿」として知られる「巣鴨地蔵通り商店街」の中ほどにある。間口は2軒と狭い。しかし、多くの加盟店が軒を連ねる商店街のなかでも、道行く人の目をひととき惹きつける店である。



ひだまりやの外観

日よけ雨よけのひさしの上の看板が不思議と目立つのだ。クリーム色の下地にオレンジで屋号が平仮名で書かれ、その横に温泉マークが納まっている。

会員数は約900人。利用者の大半は「おばあちゃんの原宿」の通称どおり、90%が女性で60〜70代の年配者。リピーターが圧倒的で定着率が高いという。地元のお客様が多いのかと思えば、「もちろん多いですが、周辺の区からもたくさんお見えになる」そうだ。

なんの変哲もない意匠で、これだけでは何の店なのか外目からは分かりにくい。その意表さがかえって関心を誘うのか、道行く人が思わず店を覗き、吸い込まれていく。

「そうですね。以前と違って、だいたい1日平均10〜20人ぐらいのお客様がお見えになるでしょうよか」

「以前と違って」という意味は、現在、『ひだまりや』は会員制にしているが、そもそもこのサロンは2015年にオープンした時から

「誰でも気楽に『光の足湯』や『遠赤外線』のベッド&日だまり』で横になって疲れを癒していた。無料で無料の健康温熱サロン」として出発した経緯がある。

無料としたのは、ひかり温熱療法を体感された方々の「お客様の声」を集め『おひさまシート』や『遠赤外線』『遠赤王』の品質向上に役立たせるためだった。ところが、あまりにも千客万來の超話題の店となってしまう運営に支障が出るようになったことから、やむなく今の会員制に切り換えたのだ。

会員がこのサロンに魅せられるのは、なんといっても遠赤外線放射の輻射で健康効果が期待できる点だが、それに加え鈴木先生の「サーマルカイロプラクター」(温熱整体師)としての高度な治療技術と、患者に寄り添い思いやる篤実な人柄に違いない。聞けば、先生自身も以前は「この病院に行っても腰、肩、頭の痛みが治らず途方にくれたことのある重度の患者だった」経験がある。それだけに「苦しんでいる人の助けになる」という使命感が人一倍強い。



せんだみつお氏がTV取材で来店

先月コメディアン「せんだみつおさん」がテレビ番組の取材で来店し『日だまり』を体験して、その効果に驚いたという。その影響かどうかは知らないが、私が取材をしている時に若い3人の女性の来店があった。中国からの観光客だという。この商店街にもインバウンドの波が押し寄せているのかもしれない。

「遠赤外線を利用することが、健康な生活に欠かせないことを知ってもらいたいですね。そして、なによりもこの街の皆さんや訪れる人が『ひだまり』で元気になっていただきたい」

鈴木先生はそんな思いでやっているという。開設して3年、『ひだまりや』は、すっかり商店街の賑わいに花を添える名物店として定着している。



施術中の鈴木健人先生

ひかり温熱療法
ひだまりや
東京都豊島区巢鴨4-22-4
ヴェッセル巢鴨 1F
☎ 03-5944-5609



「食」のコラム

(第1話) 細胞を元気にしよう!

このコラムでは、「食」の質をあげ適切な栄養を摂取することで細胞を元気にしていこうという主旨で様々な食材を取り上げていきます。

今回は人間の筋肉や臓器、体内の調整に役立っているホルモンの材料となる栄養素の1つ「たんぱく質」を取り上げます。低カロリーで栄養価が高い植物性たんぱく質の代表格が「大豆」

です。この大豆からできている「きなこ」と「豆乳」を組み合わせた「きなこ豆乳」をご紹介します。作り方は簡単です。きなこ豆乳を準備して、コップに入れて混ぜるだけです。たんぱく質は意識しないと不足がちになりますので、「きなこ豆乳」をぜひ試してみてください。

また、必要な栄養素をとると同様に、それを細胞に届けてくれる血流を改善することも大切です。血流の改善をして、しっかりと栄養素を届け、細胞を元気にいきましょう!

■「きなこ豆乳」の作り方 用意するもの



わずか1ヶ月で実感!

「関節痛がずいぶんと和らいで楽になりました」

「関節が痛く、指とか膝とかもそうですが、また下半身が凄くむくみやすかったのですけれど、これで横になって眠ったりすると、使う前に比べて関節痛がずいぶんと和らいで楽になっているという実感がありますね」

『メディカルマット』を使い始めてからわずか一ヶ月。美希さんは確かな手応えを感じていると言います。『メディカルマット』と出会ったのは、(株)MOZUが配った1枚のチラシでした。

彼女が体調不良を感じて訪れた病院で、専門医が診断した病気の対策に「遠赤外線マットを使うといいですよというアドバイスをいただいたので購入した」のが使用する動機でした。

正確には、「最初はサウナ療法を勧められたのです。でも家庭で使うのはなかなか難しいので代用として遠赤外線マットを使うことにした」というのが、使用に至る経緯でした。

医師が下した診断結果は「慢性疲労症候群」という病名でした。これまで健康に生活していた人が、ある日突然原因不明の激しい全身倦怠感に襲われ、それ以降に強度の疲労感と共に、微熱、頭痛、筋肉痛、脱力感や、思考力の障害、抑うつ等の精神神経症が長期間続く「悩ましい病気」です。

「悩ましい病気」という理由は、この病気は通常クリニックの医師では的確な病名診断が特定できない点です。この病気に対する深刻な病理的な症状を理

解している病院が少ないのです。事実、日本では長年にわたり神経症性障害に分類され、ともすれば神経疾患と認識されてきた病気なのです。

そうこうしている間に、「全身がけだるくて疲れやすくなり、どんどん体が痩せてしまった」のです。「いろんな病院にかかっても鬱病の扱いをされてしまいました」というのです。

たまたま「ある呼吸器内科の先生が慢性疲労症候群を知っていらして、診療できる病院を探した」のだと言います。「しかし、どこにもありませんでした」。

思い余った美希さんは「患者会に電話をし、都内にある先生を紹介していただいて、そこで診断を受けてはじめて病名が確定したという流れ」を経ているのです。8年前のことでした。慢性疲労症候群と確定されるまでには長い時間と苦労があったのです。

ちなみに、患者会とは、同じ病気や障害、症状など何らかの共通する患者体験を持つ人が集まり自主的に運営する会のことです。

「特効薬とか緩和する療法はないので、やっているのは基本的には痛みをペインコントロールする痛み止めぐらいです」

ようやく病名は確定されたものの慢性疲労症候群には、まだ現代医療においては有効な治療法が確定されていません。一般的な治療方法としては、薬物療法と非薬物療法があります。

医師が、美希さんにサウナ療法や遠赤外線マットを勧めたのは、これらが温熱療法に役立つからです。

遠赤外線には新陳代謝を促し、筋肉の緊張をほぐして血流を良くし免疫力を高める効果が期待されます。

「暑いという感覚はありませんが、呼吸器系がちょっと疾患をもっているのです。その関係かどうかは分かりませんが、寝汗をかくようになりましたがとても気持ちよく寝かせていただいています」

ただ「ひとつ私には難点があります。それは少し硬いこと」だと言います。『メディカルマット』と厚さと下との「段差のところに体重がかかると、繊維筋痛症のせいかそこで筋肉に圧がかかり痛い」と言うのだ。実は美希さんは、慢性疲労症候群に加えては繊維筋痛症という病気を抱えています。

繊維筋痛症とは、一般的な検査をしても原因が見つからないにもかかわらず、全身の強い痛みやこわばり、睡眠障害などさまざまな症状が生じる病気です。

いまは「段差のところに薄い低反発マットをふたつ敷いて使って、なるべく筋肉に圧がかからないように使っています」と、明るく笑いながら「知っている方にもお勧めしようかと思っています」と話してくれました。病苦に悩む人たちの間で『メディカルマット』の普及の輪が広がればこんな嬉しいことはありません。

遠赤王商品紹介



メディカルマット 148,000円(税別)
サイズ:90×55cm / 消費電力:90w / 重さ:1.5kg

■ 使用例



遠赤王シリーズの中で、唯一医師からの依頼で開発されたマットタイプの遠赤外線温熱機器。足先が冷えているという自覚症状をお持ちの方におすすめです。効率的にからだ全体の血の流れをよくしてくれます。

遠赤王の呟き① 生命はどこまでわかるのだろう？

【細胞の機能と役割】

夏目漱石の名作の題名にあやかり自分を名乗らせていただければ、「吾輩は遠赤王」である。

このコラムのシリーズを書き続けていく主人公である。そう名乗ると、決まって「どちらの国の王様ですか」と尋ねてくる無粋な輩の質問にしばしば戸惑い答えに窮してしまう。

あらかじめ断っておくが、私は王といっても、どこかの国の王様なんかではない。

あえて言うならば、「MOZU王国」という、まだ歴史が12年ほどの会社で、正確に言えば、いろいろな事情や経緯があって4年ほど前に装いを新たに出発した(株)MOZUという会社の誰かが、私に名付けた呼称というか、愛称である。

この会社の偉さというのか、憎めないのは、「名は体を表す」と言うように、いやいや、「馬子にも衣装」とでも言った方がいいのかもしれないが、私の体にお見かけどお

りの「王様」の衣装を身に纏わせ、私をすっかりその気にさせてしまったことだ。

人間とは不思議な生き物で、そう呼ばれ続けて4年も経てば、誰かが私を「おじさん」と呼ぼうものならば、

「君、言葉に気をつけてもらわなければ困るよ。私はおじさんなんかではない。一国一城の城主である遠赤王だよ」

と、いつの間にか不快な顔で抗議のひとつもしたくなるような人間になってしまうものであるようだ。

面白いもので、役柄が人をつくるという諺があるように、自他共に「王様」を自認することに慣れてくると、人間は自然とそれなりに名に恥じないような人間になるように粉骨砕身勉強をするものらしい。

このコラムは、私がそんな背伸びをしなげらにわか勉強をしたことなどをシリーズで書き連ねていく連載である。

いかにも小難しくそんな生命科学のシリーズ

のようなタイトルだが、そんなことはない。

生命の不思議について私が思っていることや考えていることなどを、呟いていこうと思っている。毎号、気楽な気持ちでお読みいただければ幸いである。

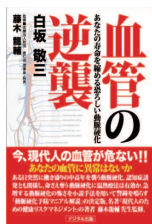
連載の始まりは細胞である細胞は生命の基本単位であることは誰でも知っている。でも、細胞がどんな働きをしているのかを知っているかと言えば、そうでもないだろう。ご承知のとおり、MOZUには、「遠赤王健康シリーズ」の製品がある。

私としては、関係者には人体や健康についての基本的な知識について知ってもらいたいと思っている。本欄では、そのような方々の目線に立って、分かりやすく取り上げていきたいと思っている。

今回はコラムの趣旨についての前置きで紙幅をとってしまったが、遠赤王としては次号からそんな調子で呟きを綴っていきたいと思っている。

インフォメーション

遠赤王関連書籍



「血管の逆襲」
白坂 敬三著
定価：本体1,300円

今、現代人の血管が危ない！
あなたの血管に異常はないか？
寿命を縮める恐ろしい動脈硬化

ある日、突然、働き盛りを襲う動脈硬化症。乱脈な生活習慣が招く恐ろしい動脈硬化症からどうすれば逃れられるのか。小説手法を用いて現代人の生活習慣の在り方に警告を鳴らす解説付き動脈硬化対策小説『血管の逆襲』。(株)MOZUの「遠赤王」が取り上げられています。

※ご購入をご希望の方は、(株)MOZUまでお申し出下さい。



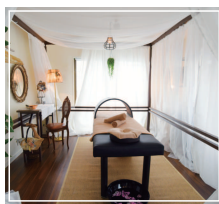
「育成光線暖房革命」
白坂 敬三著
定価：本体1,300円

世界一の輻射量を誇る
炭素繊維面状シート使用の
安全健康床暖房の謎を解く

近年、床暖房設備としてはもちろんのこと健康管理面からも注目されている炭素繊維面状シート使用の画期的な床暖房「遠赤王」。その卓越した暖房システムとはどういうものなのか。炭素繊維面状シートから輻射される育成光線が、私たちの健康管理にどのような効果が期待できるのか等々をわかりやすく解説した『遠赤王』まるごと早わかり本です。

※ご購入をご希望の方は、(株)MOZUまでお申し出下さい。

遠赤王関連店舗



温熱リンパドレナージュサロン
ohana ☎ 03-6279-5389
東京都調布市仙川町1-19-24 リヴェール仙川201

閑静な住宅街にある温熱サロン。ohanaはハワイ語で家族という意味。南国のリゾート感の雰囲気心地のよい空間を心掛けています。温熱効果とオールハンドのリンパドレナージュトリートメントによってデットクス効果が好評なサロンです。



手なおし屋
ひだまりサロン ☎ 0270-27-4144
群馬県伊勢崎市連取町3040-3

「ひだまりサロン」は、温熱×整体を体感できるサロンです。DRT(ダブル・リコイル・テクニック)という施術を導入し、背骨をゆらすことで気になる不調を改善していきます。温熱と全体の組み合わせを体感したい方、お待ちしております。



ひだまりや ☎ 098-979-0238
沖縄県うるま市江洲507 うるまシティプラザ1F

沖縄で唯一、遠赤王製品を体感できる「ひだまりや」。ショッピングモールの中に「光の温泉」というのれんが目立ちます。マイクロスコープによる血流状態のチェックができます。新たにリンパトリートメントが体感できるスペースを作る予定です。